

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2018-27316(P2018-27316A)

【公開日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-007

【出願番号】特願2017-184317(P2017-184317)

【国際特許分類】

A 4 7 K 10/16 (2006.01)

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

D 2 1 C 5/02 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 10/16 A

D 2 1 H 27/00 F

D 2 1 C 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月25日(2018.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エンボスが施された 1 プライのトイレットペーパーをロール状に巻き取ったトイレットロールであって、

巻長が 1 1 0 ～ 1 8 5 m、巻直径が 1 0 4 ～ 1 3 4 mm、巻密度が 1 . 1 ～ 1 . 9 m / c m²、

前記トイレットペーパーの比容積が、4 . 0 ～ 7 . 5 c m³ / g であり、前記エンボス 1 個当たりの面積が、0 . 4 ～ 7 . 0 m m²であり、

かつエンボス深さ D 1 (mm) とエンボス深さ D 2 (mm) の比 { (D 2 / D 1) × 1 0 0 } が 4 5 ～ 1 0 0 % であるトイレットロール。

但し、エンボス深さ D 1 は、該トイレットロールを巻きほぐした際の最外巻のトイレットペーパーの端縁から前記巻長の 1 0 % に相当する位置における前記エンボスの深さであり、エンボス深さ D 2 は前記端縁から前記巻長の 9 0 % に相当する位置における前記エンボスの深さである。

【請求項 2】

前記エンボス深さ D 1 が 0 . 0 5 ～ 0 . 3 6 mm、前記エンボス深さ D 2 が 0 . 0 5 ～ 0 . 3 1 mm である請求項 1 記載のトイレットロール。

【請求項 3】

巻固さが 0 . 2 ～ 1 . 3 mm である請求項 1 又は 2 に記載のトイレットロール。

【請求項 4】

前記トイレットペーパーは、クラフトパルプを 4 0 ～ 1 0 0 質量% 含有する請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のトイレットロール。

【請求項 5】

ミルクカートン由来の古紙パルプを 0 質量% を超え、6 0 質量% 以下 含有する請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のトイレットロール。

【請求項 6】

CIE（国際照明委員会）が規定するC光源を前記トイレットペーパーの表面側に照射したときのISO 2470に準拠した白色度UV-inと、波長420nm以下の紫外光をカットするフィルタを介して、前記C光源を前記トイレットペーパーの表面側に照射したときのISO 2470に準拠した白色度UV-cutとの差 Δ が0.0～2.5ポイントである請求項1～5のいずれか一項に記載のトイレットロール。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明のトイレットロールは、エンボスが施された1プライのトイレットペーパーをロール状に巻き取ったトイレットロールであって、巻長が110～185m、巻直径が104～134mm、巻密度が1.1～1.9m/cm²、前記トイレットペーパーの比容積が、4.0～7.5cm³/gであり、前記エンボス1個当たりの面積が、0.4～7.0mm²であり、かつエンボス深さD1（mm）とエンボス深さD2（mm）の比{(D2/D1)×100}が45～100%である。但し、エンボス深さD1は、該トイレットロールを巻きほぐした際の最外巻の端縁から前記巻長の10%に相当する位置における前記エンボスの深さであり、エンボス深さD2は前記最外巻の端縁から前記巻長の90%に相当する位置における前記エンボスの深さである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記エンボス深さD1が0.05～0.36mm、前記エンボス深さD2が0.05～0.31mmであることが好ましい。

巻固さが0.2～1.3mmであることが好ましい。

前記トイレットペーパーは、クラフトパルプを40～100質量%含有することが好ましい。

ミルクカートン由来の古紙パルプを0質量%を超え、60質量%以下含有することが好ましい。

CIE（国際照明委員会）が規定するC光源を前記トイレットペーパーの表面側に照射したときのISO 2470に準拠した白色度UV-inと、波長420nm以下の紫外光をカットするフィルタを介して、前記C光源を前記トイレットペーパーの表面側に照射したときのISO 2470に準拠した白色度UV-cutとの差 Δ が0.0～2.5ポイントであることが好ましい。